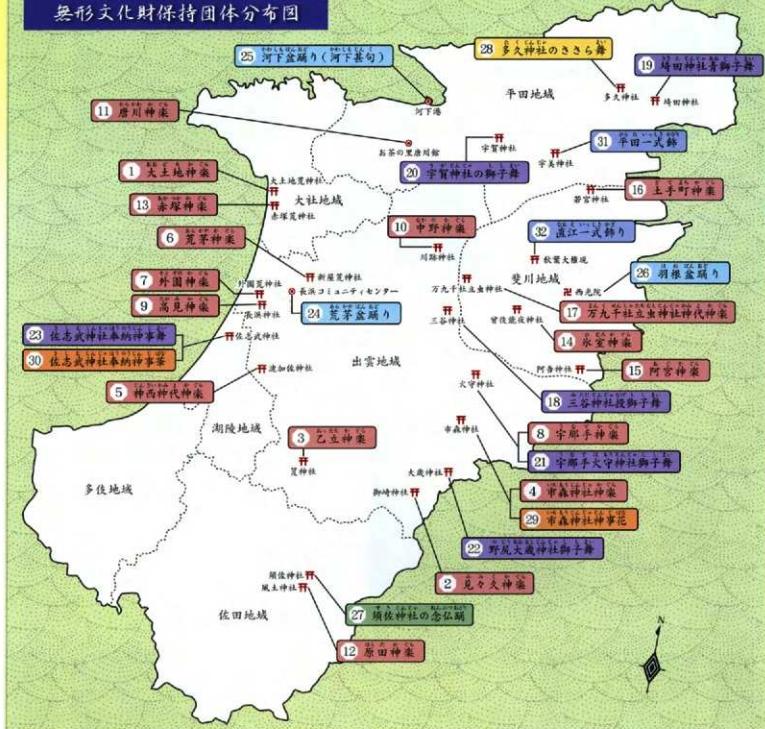


無形文化財保持団体分布図



種類	地域	名	指定	名
出雲神楽	大社	国	大上神神楽	
		市	見立久神楽	
		市	乙古神楽	
		市	市森神社神楽	
		市	市吉代神楽	
	出雲	市	荒茅神楽	
		市	外國神楽	
		市	市吉代神楽	
		市	見立久神楽	
		市	原田神楽	
斐川	平田	市	河下益舞り(河下甚句)	25
		市	多久神社のささら舞	28
		市	埴田神社青獅子舞	19
		市	多久神社	
		市	埴田神社	
		市	平田一式舞	31
		市	平田一式舞	31
		市	宇手竹山舞	16
		市	宇智神社	
	佐佐	市	宇智神社の獅子舞	20
		市	宇智神社の獅子舞	20
		市	宇智神社	
		市	中野神楽	10
		市	周船神社	
		市	秋浪太鼓祭り	25
		市	西光院	
大社	大社	市	万九千社立出雲神社神代神楽	17
		市	万九千社立出雲神社神代神楽	17
		市	旅宿神代神楽	14
		市	阿古神社	15
		市	三谷神社投立子舞	18
		市	宇摩子神楽	8
	出雲	市	宇摩子大守神社獅子舞	21
		市	市森神社坐事花	4
		市	市森神社坐事花	29
		市	野尻大藏神社獅子舞	22
		市	荒茅益舞り	24
		市	河下益舞り(河下甚句)	25

出雲市無形文化財連絡協議会（出雲市文化財課）

お問い合わせ

〒693-0011 島根県出雲市大津町 2760

TEL 0853-21-6893 FAX 0853-21-6617

2018.11 改訂 (2,000部)

出雲の伝統芸能

一 出雲市無形文化財 一

古くより出雲国には多くの神話が伝えられ、神楽や獅子舞など神話を基にした神事や伝統芸能が神々に奉納されてきました。その技と心は悠久の時を経て今に息づいています。

これら出雲の伝統芸能は各地域に残る貴重な宝として国、県、市の無形民俗文化財に指定され、先人から受け継いだ出雲の魅力と素晴らしさを次世代へと継承していきます。

出雲神楽



獅子舞



ささら舞



神事花



一式舞り



念仏踊り



出雲神樂

多くの神話の物語を今に伝え継ぐ出雲神楽。

- 素面のまま、手に持つて舞う舞が前段にかためられ「七座」と総称されていること。
- 「七座」について、祝福を意図する儀式的な舞の「式三番」があること。
- 後段に、神話や縁起などを素材にした着面による演劇舞が続き、概ね「神能」と称されていること。

これらの点が出雲神楽に共通する基本的な特徴とされており、市内各地に数多くの神楽が承継されています。



見き久神楽「山の神」

盆踊り



河下弦踊り



草茅盆踊り



沖佐神社の念仮踊り

念仮踊り

佐田町の須佐神社で古くから行われている念仮踊りは、仏教の念仏と農耕儀礼の発展が一緒にになったもので、歌舞伎の始祖とされている出雲阿国が、京都の四季河原で顕した「念仮踊り」の原型とも言われています。

笛や太鼓に合わせて浴衣の音流しに花笠を被った踊り手がお経のような文言を唱えて踊ります。



羽根盆踊り

盆踊りは、各地で祈願のために行われた念仮踊りが起源であるといわれ、それぞれの歌詞や踊りのなかには、鎌倉時代末期に隠岐国に流された後醍醐天皇や、戦国時代の城主などそれぞれの土地にちなんだものが多く残っています。

盆踊りは古来から民衆のくらし、伝統、風習などを色濃く反映しており、各地の夏祭りでは、毎年子どもからお年寄りまで暖やかに歌い踊られています。



芥茅神楽「前舞」

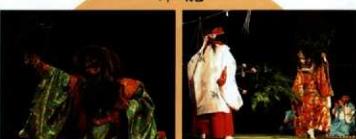


外國神楽「八乙女」



宇摩那神楽「三番」

神能



大土地神楽「野見宿禰」



水室神楽「日御碭」

鹿用神楽「赤雀」

阿宮神楽「八ツ」

獅子舞

少なくとも300年前から伝わる獅子舞は、神社の芸能神事として市内各地に多く伝えられています。

伊勢流の特徴を持つ獅子舞のほか、出雲地方に古くから伝わる「投げ獅子」と言われる獅子頭を投げつけるように舞う三谷神社復獅子舞や、獅子頭が青黒く塗られている塙田神社青獅子舞など、田楽系の流れをくむ出雲地方独特の素朴で古い形態も現在まで継承されています。



塙田神社青獅子舞「ささら舞」



三谷神社復獅子舞

神事花



市森神社奉納神事



佐志武神社奉納神事



野尻大歳神社獅子舞



佐志武神社奉納神事

一式飾り



平田一式飾り
「決闘田中山」



平田一式飾り
「海舟」

一式飾りは、身近な生活用具である陶器、金物、茶器等を組み合わせ、歴史上の人物やおとぎ話などの一場面を独特な発想と技巧を凝らして飾る独特の民俗芸術です。

市内には平田一式飾りと直江一式飾りがあり、立てて飾ったり、吊して飾ったりとそれぞれに特色があります。いずれもその豪快かつ優美な作品は見る人を魅了します。

神社に奉納された神事花は、切り分けられたり、取り合ったりした紙花を氏子が自宅に持ち帰り、床の間に飾って式神様のご加護をいただきます。